

第3章 重点プロジェクト

重点プロジェクトとは、共通の目的に向かって、いろいろな分野の中から、特に力をいれて取り組む事業をまとめたものです。

この章では、特に重点的な15の取り組みを5つのテーマに整理し、地域福祉計画の重点プロジェクトとして積極的に取り組んでいきます。

【重点プロジェクト】

1 福祉のこころを育み広げるプロジェクト

2 地域福祉のネットワークづくりプロジェクト

3 地域資源の活用・活性化プロジェクト

4 情報提供と相談の充実プロジェクト

5 福祉サービスの質の向上プロジェクト

1 福祉のこころを育み広げるプロジェクト

平成15年度末の現状

- 各学校にて、近隣の老人ホームとの交流や地域清掃、アイマスク体験^(※1)等、さまざまな学習活動の実施
- (仮称)西東京市人にやさしいまちづくり条例の制定に関わる市民懇談会の設置

平成20年度までの目標

- 「いつでも誰もが平等に社会にかかわりを持つ」というノーマライゼーション^(※2)の理念を、すべての市民に広め、実感できる社会をつくれます。

取り組み内容

1 【取り組み1】

ノーマライゼーション理念の普及・啓発<目標1-(1)-①>

「障害者や高齢者を含むすべての人が、その人らしく生活しながら、共に暮らし、共に生きていく」というノーマライゼーション理念の普及・啓発に努めます。

2 【取り組み2】

福祉教育の充実<目標1-(1)-③>

地域でできることについて、一人ひとりが考え行動するきっかけづくりとして、学校教育や生涯学習などと連携して福祉教育を推進していきます。

3 【取り組み3】

ユニバーサルデザインの普及・啓発<目標3-(1)-①>

既存施設のバリアフリー^(※3)を進めるとともに、誰もが快適に過ごせるユニバーサルデザイン^(※4)の施設・まちづくりを進めます。また、市民や事業者に対してもユニバーサルデザインの普及・啓発に努めます。

<用語解説>

(※1) アイマスク体験…目隠しをして、眼の不自由な人が感じる障害や不便なところを体験するもの。

(※2) ノーマライゼーション…大人も子どもも、高齢者も、障害のある人もない人も、すべての人が平等に、社会を支えている大事な一員である、という考え方。

(※3) バリアフリー…利用しやすく、移動しやすくするために、妨げになるものを取り除くこと。例えば目の不自由な人が誤用しないようにシャンプーとリンスの容器を変えたり、住宅に段差や仕切りがなく移動しやすくしたりすること。

(※4) ユニバーサルデザイン…大人も子どもも、高齢者も、障害のある人もない人も、すべての人にとって使いやすく工夫されたデザインのこと。

スケジュール

	平成 16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
<p>取り組み1</p> <p>ノーマライゼーション 理念の普及・啓発</p>	<p>広報の推進（パンフレットやポスター等）</p>		<p>社会福祉協議会と連携したイベント等の開催</p>		
<p>取り組み2</p> <p>福祉教育の充実</p>	<p>学校教育での福祉教育の充実</p>				
	<p>生涯学習や公民館講座での講座メニューの充実</p>				
<p>取り組み3</p> <p>ユニバーサル デザインの普及・ 啓発</p>	<p>公共施設におけるユニバーサルデザインの採用促進</p>			<p>市民・事業者への啓発活動</p>	
				<p>民間への採用支援方策 の検討</p>	